

北区会 自由な趣味の会

第52回折り紙の会 活動記録

: 2022年 4月27(水) 13時~16時

1. 参加者と場所と時間

時間	場所	参加予定者
13時~16時	星和台ファミリーホール	貴美子講師、山下講師: 鬼村信行、佐伯義昭、徳山忠子、高橋毅、宮内久子、中川豊、中川多賀子、山本照子、道満俊徳 敬称無

折り紙の会 はじめに。

本日の会場 前田さんのお世話で「星和台ファミリーホール」になりました。

ウクライナ支援 千羽鶴 他の折り紙作品は既に4月12日グループわ南理事長から 東京ウクライナ大使館宛てに郵送して頂きました。この支援品現地に着信され、何人何ひとに受けて頂くか？はこの戦時下では分かりません。

最近 インターネットで「ウクライナと折り紙」を開示すると、千羽鶴は世界でも「平和」の象徴する物である事の認識は多くなっています。また日本の多くの方が千羽鶴を支援物資に作られている事、良く分かります。私達はこのITを見て発想したわけではありません。既に3月中旬に支援を予定実行に入っていました。4月の下旬に下記のような反論が出てきたがその時点では送りました。日本中で千羽鶴送られている記事がありますが・・私達は早くから支援の意思

「折り紙の会」主催品作成・実行中
 キャスタージャーナリスト安藤優子氏(63)が24日、フジTV「ワイドナショー」で在日ウクライナ大使館へ千羽鶴を贈る動きへの賛否コメント。実業家の西村博之(ひろゆき)氏が自身のツイッターで、「千羽鶴を『無駄な行為をして、良い事をした気分になるのは恥ずかしい！』そろそろ理解して貰いたいと思ってる、自身だけか？」とか。メンタリスト・DaiGoもツイッターで「博之さんの言う通り、ウクライナに折り鶴送るは狂気」など賛同。一方で、反論の声出て、賛否が巻き起こっている。安藤氏は「折り鶴を折って差し上げたいっていうのはとっても尊いと思う」と鶴を折ることへの敬意を表しつつも「だけど、それが支援になるのかっていうのはまったく別の問題」と指摘した。

2. 活動概要

I 蝶々と小箱 (ウクライナ色)

山下講師



しゃいなお箱



II、本日作品: 色紙「着物一打掛」

貴美子講師



兜飾り



II Collection of works 原姿写真アラカルト!

作図見て、折れるなんて・・凄い!

休んで分・・イチからだ・・!



忠子姉さんー これってむつかしいよ!

俺にとって折り紙は陶器より、うん〜と容易だ!





俺の折り紙才能どこにいったんだ？



教室風景



III Work announcement

全員完成だ

着物 豪華な打掛 着物の細部の折り込みは難解だった



感想！

今まで24節気の作品が多かったが、今回日本の伝統衣装＝打掛 全員完成になった。私自身は「いいなあ～日本伝統ファッションはああ・・・」とつくづく思いました。今回ウクライナ色の小箱(山下講師提案)は簡単のようで難しい・・・皆頭を捻っていました。

折り紙が持つ幾何学的な性質から、数学の一分野としても研究されている他、工学や宇宙工学分野でも構造物の収納・展開の手段として活用されている。その効果効用：想像力、創造力、数学的・幾何学的観念を与える、物の順序、正確性、楽しさ、美的情緒を養う、手先の運動神経 つまり脳トレにもっとも簡単に何時でもできる良さで、何よりも日本で一番庶民伝統作品

この会はこの区会の方も自由に参加頂けます。お知り合いお友達もお誘いください。

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「道満」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 諸道具の購入などは参加者負担(500円)をお願いします。

次回開催:

文責 道満

第53回折り紙の会活動計画 予定

開催日 令和4年 5月 25日(水) 13時～16時

場所 **星和台ファミリーホール**

〒651-1121 兵庫県神戸市北区星和台6丁目28-1

文責道満